

Euglena Group

# 2025年12月期第1四半期決算説明

株式会社ユーグレナ  
東証プライム市場（証券コード：2931）

2025.05.12

【免責事項】 本資料に記載されている予測、見通し、戦略およびその他歴史的事実ではないものは、当グループが資料作成時点で入手可能な情報を基としており、その情報の正確性を保証するものではありません。これらは経済環境、経営環境の変動などにより、予想と大きく異なる可能性があります。

# エグゼクティブサマリー

## 業績サマリー

(百万円)	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY	
			差額	増減率
<b>売上高</b>	11,154	<b>11,936</b>	<b>+781</b>	<b>+7%</b>
うちヘルスケア	10,304	10,924	+620	+6%
<b>調整後EBITDA</b>	1,071	<b>1,546</b>	<b>+474</b>	<b>+44%</b>
うちヘルスケア	1,642	2,033	+391	+24%
<b>営業利益</b>	302	<b>618</b>	<b>+316</b>	<b>+105%</b>

- **調整後EBITDAと営業利益が前年同期比で大幅拡大**
  - 売上高もサティス製薬グループの連結寄与で増加
  - 2Q以降は広告投資拡大を見込み、業績予想は据え置き
- **収益構造の改善により黒字体質が定着**
  - 広告投資を維持しつつ調整後EBITDA、営業利益が大幅増加
  - 希望退職者募集が完了、年間約3.7億円の固定費削減に相当

## ヘルスケア事業

- **グループ横断での収益構造改善が継続**
  - 調整後EBITDAマージンは19%に改善（FY2024Q1は16%）
- **「CONCリンクルインジェクション」が引き続き好調**
  - マイクロニードル軸でチャネルと用途の横展開も開始
- **ユーグレナ等の機能性を軸とした認知拡大策を強化**
  - アリナミン社商品に機能性素材としてユーグレナを供給

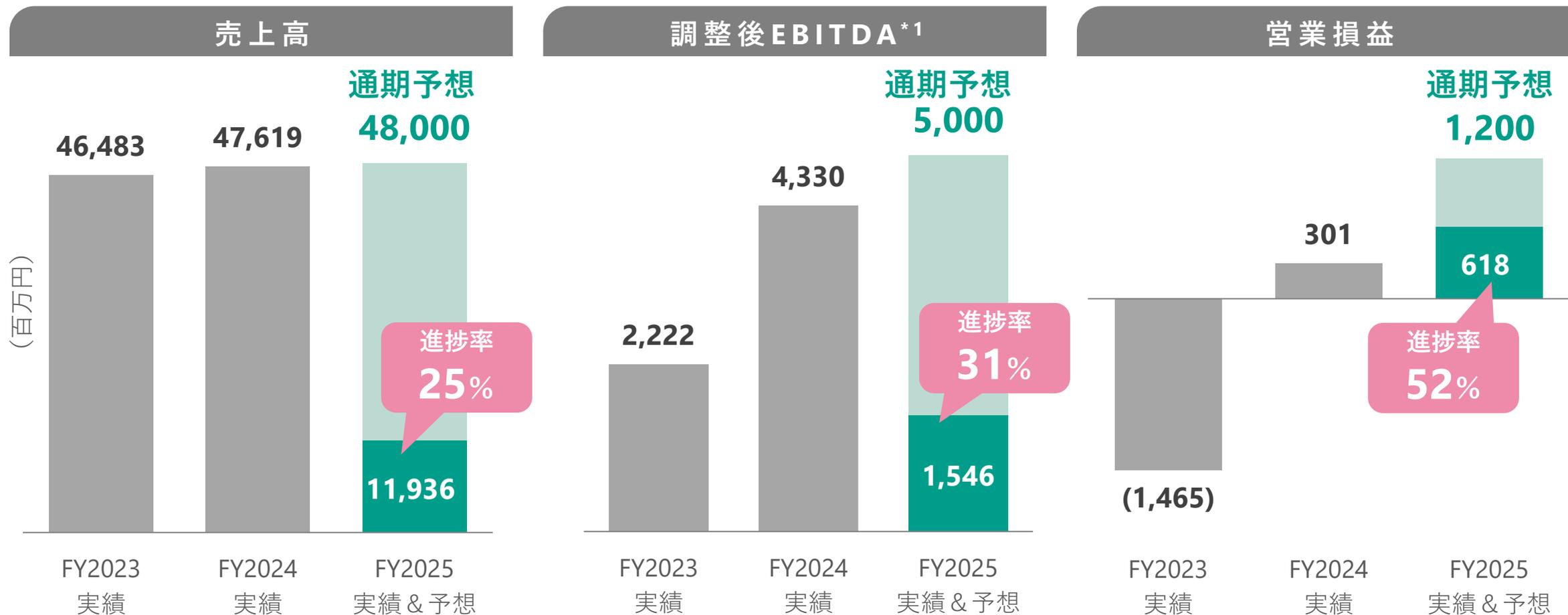
## バイオ燃料事業

- **原料調達ソース開拓に向けた助成金を獲得**
  - 廃食油等の原料や藻類培養向け糖源の調達に向けた調査に着手
- **最大30百万ドルのSPC負債性資金調達ファシリティを設定**
  - SPC手元資金とJVCo自身でアレンジ中の資金調達と合わせて、JVCo持分15%引上げに必要な資金をカバーできる見込み
- **サステオ51の開発と助成金活用で国内HVO需要を創出**
  - サステオ51は改正省エネ法対応に利用可能、東京都助成金も活用しながら国内HVO普及を加速

# 2025年12月期第1四半期決算サマリー

# 通期予想進捗

売上は計画通りに進捗、利益は収益構造改善により計画を上回るペースで拡大  
第2四半期以降に広告宣伝投資の拡大を見込んでおり、通期業績予想は据え置き



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

\*1: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬

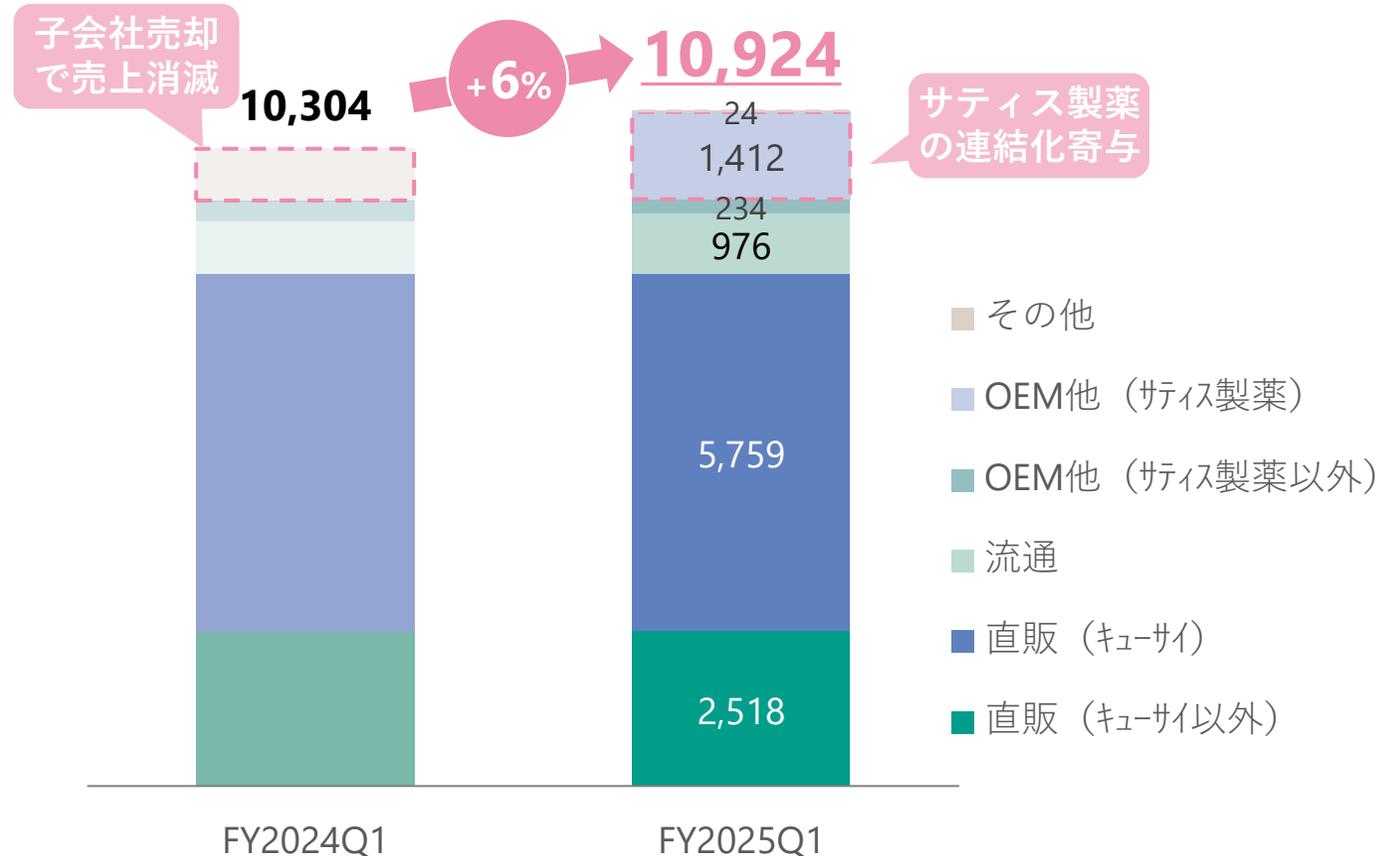
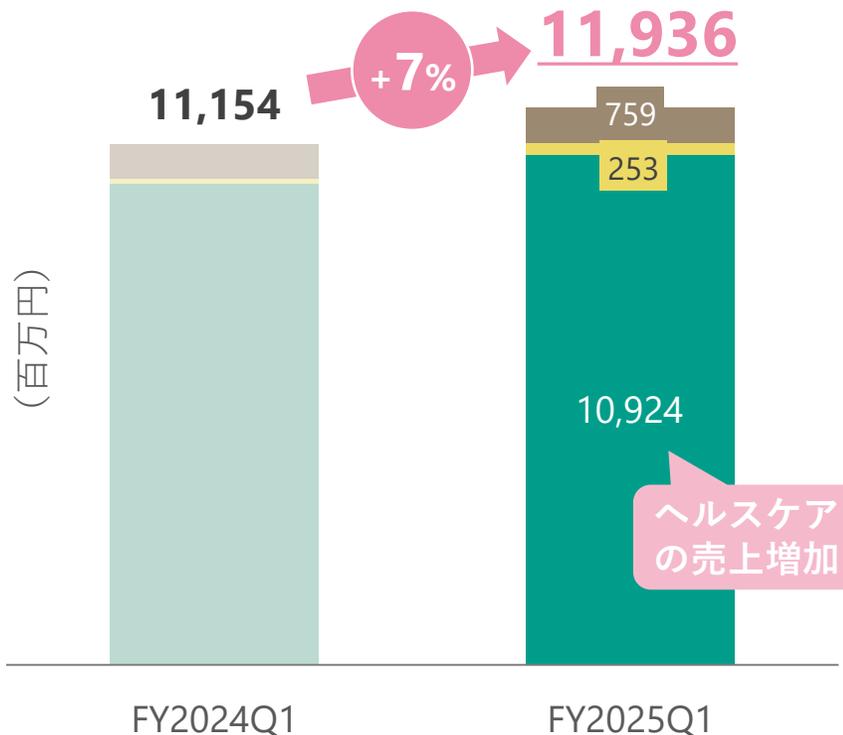
# 売上高

サティス製薬の連結化寄与でヘルスケア売上高が増加。バイオ燃料・その他も微増

売上高\*1

ヘルスケア売上高\*2

■ヘルスケア ■バイオ燃料 ■その他



\*1: 「その他」には、セグメント間のグループ内相殺等を含む

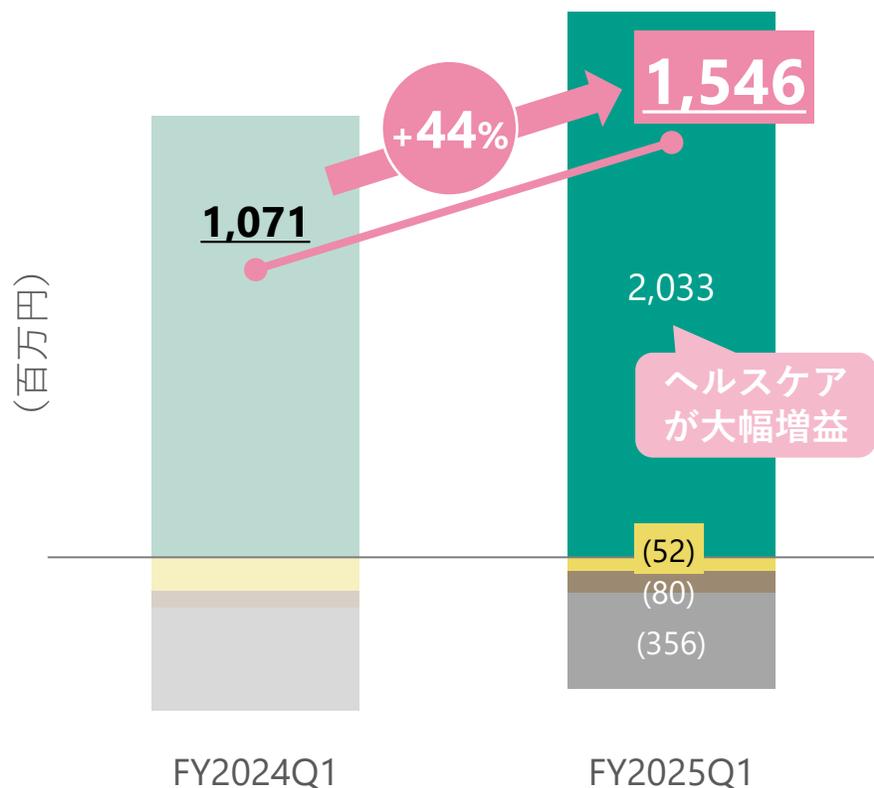
\*2: 「その他」には、2024年度に売却した子会社影響及びグループ内相殺等を含む

# 調整後EBITDA、営業利益

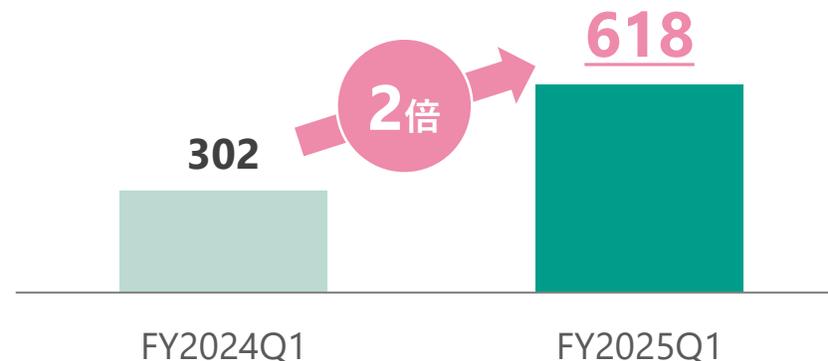
ヘルスケア事業の増益が牽引し、調整後EBITDAは1.4倍、営業利益は2倍に大幅拡大

## 調整後EBITDA

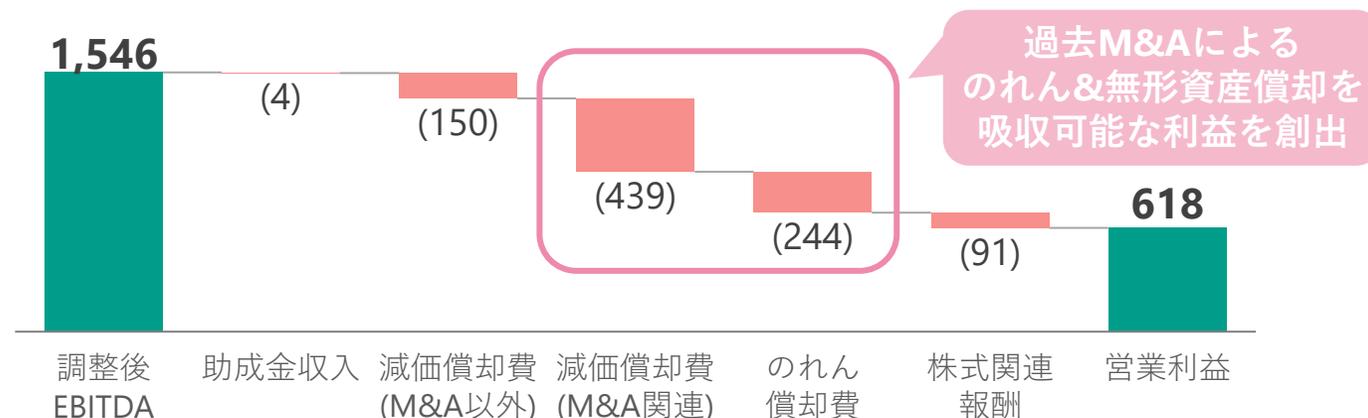
ヘルスケア バイオ燃料 その他 全社 合計



## 営業利益



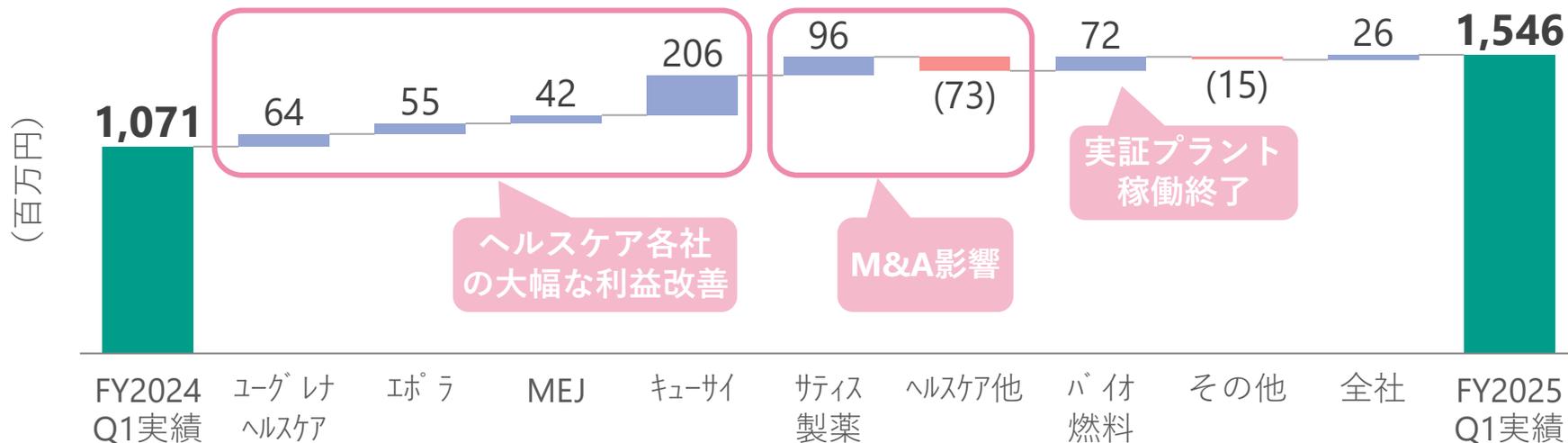
## FY2025Q1 調整後EBITDA → 営業利益の差分



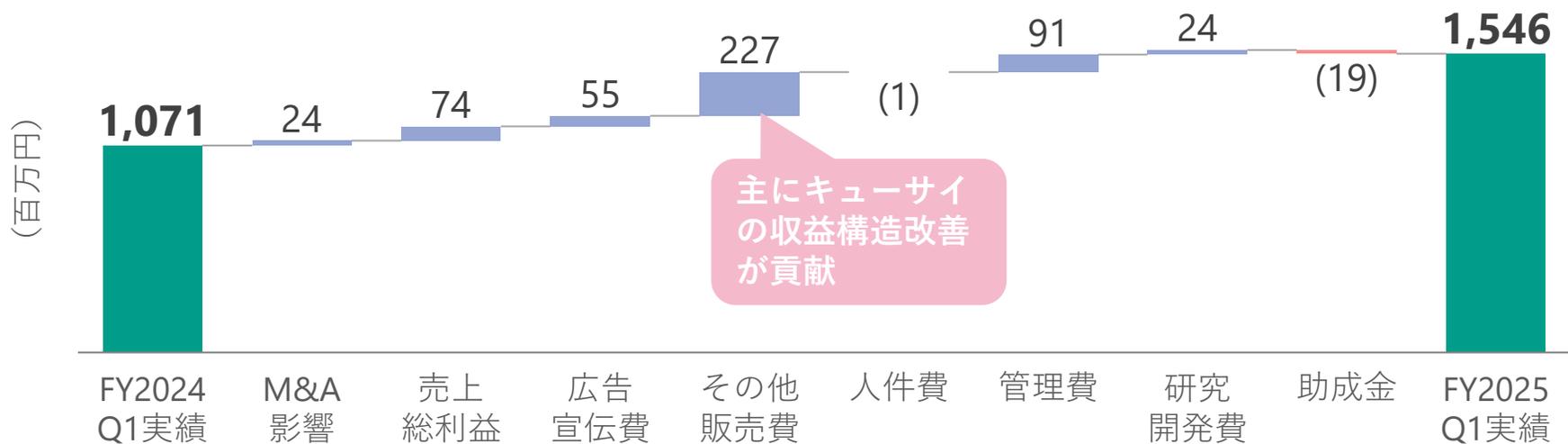
# 調整後EBITDA増減分析

収益構造の改善により黒字体質が定着、広告宣伝投資を維持しつつ調整後EBITDAが大幅増加

事業別



科目別



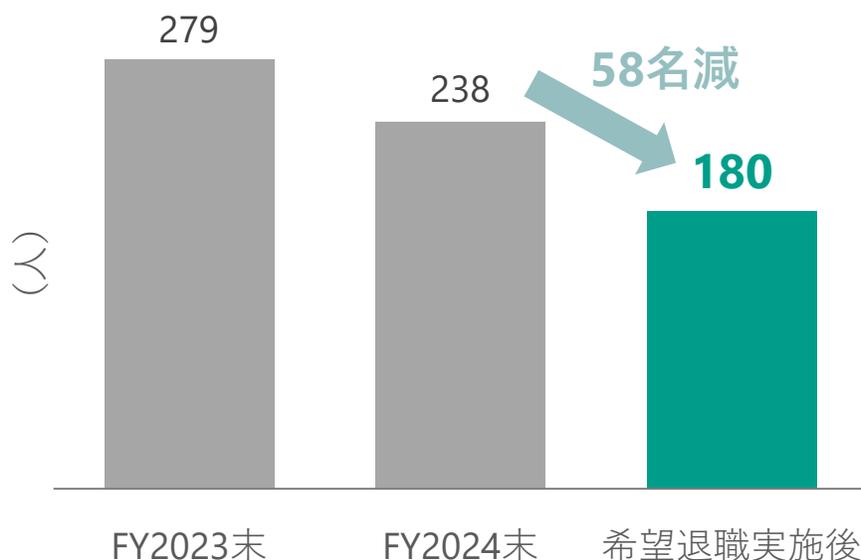
# 経常利益、当期純損益 - 希望退職者の募集

希望退職者の募集完了により、年間約3.7億円の固定費削減を見込む

特別損失の計上や、キューサイに係る法人税等・非支配株主損益により、当期純損益は約5億円の赤字

## ユーグレナ単体\*1の人員数推移

- 58名が希望退職者の募集に応募
- 1Qに2.6億円の特別損失を計上
- 年間約3.7億円の固定費削減を見込む



(百万円)	FY2024 Q1	FY2025 Q1	YoY
売上高	11,154	<b>11,936</b>	<b>+781</b>
売上原価	(3,130)	<b>(3,600)</b>	△469
売上総利益	8,024	<b>8,336</b>	<b>+312</b>
参考：売上総利益率	72%	70%	△2.1%
営業利益	302	<b>618</b>	<b>+316</b>
営業外損益	(36)	(182)	△146
経常利益	266	<b>436</b>	<b>+170</b>
特別損益	(482)	(261)	+222
法人税等	408	(330)	△738
非支配株主損益	(0)	(353)	△353
親会社株主に帰属する当期純損益	192	<b>(507)</b>	△699
調整後EBITDA	1,071	<b>1,546</b>	<b>+474</b>

為替の影響  
助成金の減少

希望退職に伴う特損

子会社売却に伴う特損

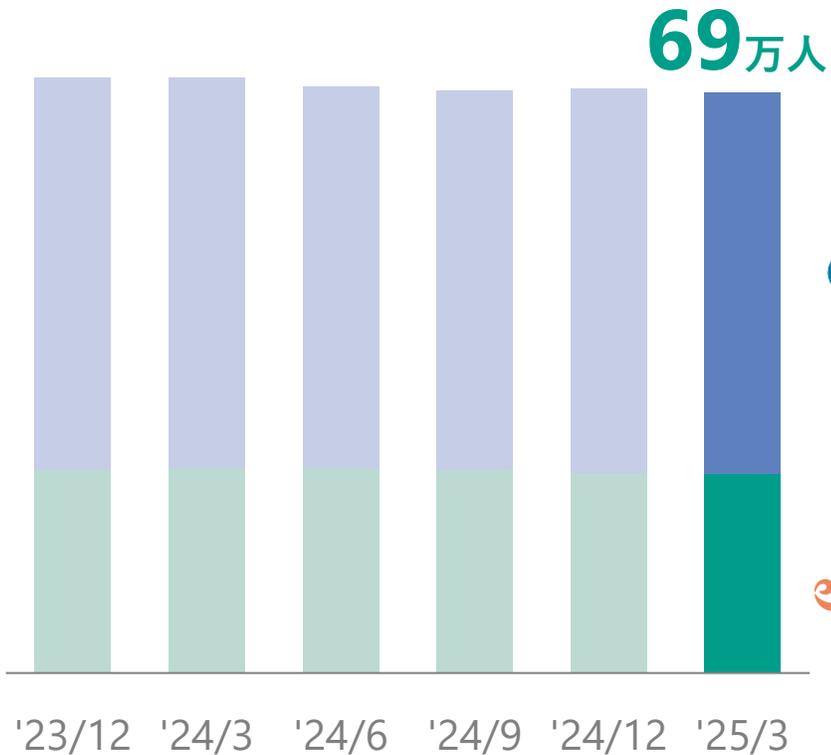
キューサイの利益拡大

# ヘルスケア事業

# 直販定期顧客数 - 主要ブランド別トレンド

効率の良いブランドに広告投資をアロケーションし、利益重視の経営を推進

グループ直販定期顧客数推移



主要ブランド別トレンド (FY2025Q1)

<p>→ ひざサポート コラーゲン</p> <p>投資効率が若干悪化 定期顧客数は前Q比微減</p>	<p>→ コラリッチ</p> <p>投資効率が若干悪化 定期顧客数は前Q比微増</p>	<p>↓ ザ・ケール</p> <p>前Qは復刻版CMの効果で獲得好調。今期はその反動で定期顧客数は前Q比減少</p>
<p>→ からだにユーグレナ</p> <p>高投資効率のオフライン媒体への投資を強化 定期顧客数は長期継続的に微増傾向</p>	<p>↑ CONC</p> <p>獲得効率は好調継続で投資拡大中。定期顧客数は前Q大幅拡大</p>	
<p>↓ one</p> <p>投資効率悪化のため広告投資を抑制し、定期顧客数減少</p>	<p>↓ akyrise</p> <p>投資効率が改善せず苦戦 定期顧客数は減少傾向</p>	
<p>→ epo</p> <p>季節性影響で投資効率は直近悪化するも定期顧客数は微増</p>	<p>↓ C COFFEE</p> <p>テスト投資を継続中で広告投資抑制。定期顧客数は減少継続</p>	

Q' SAI

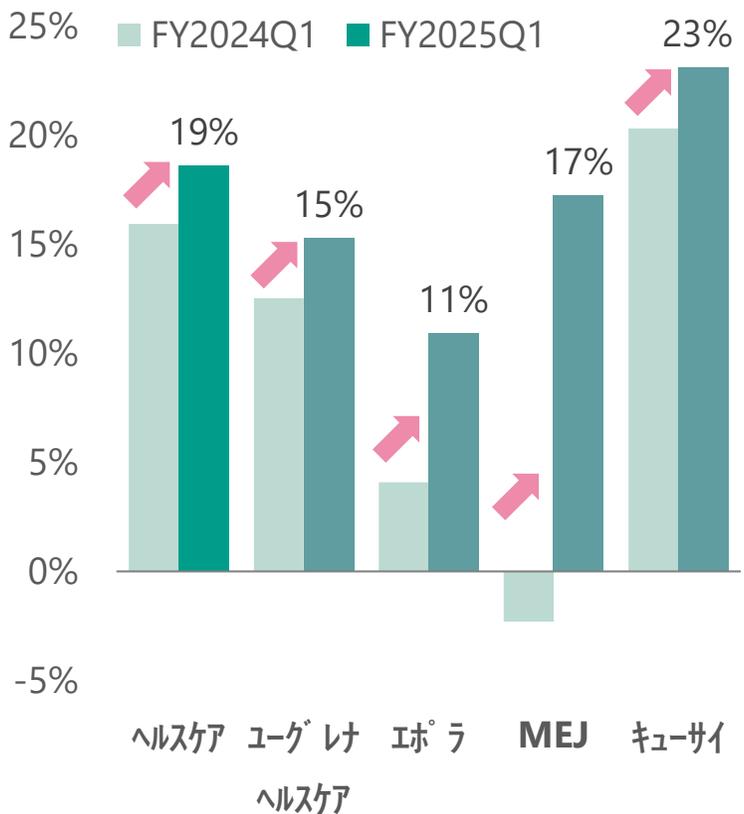
1-Grace  
epauler  
mej

# 収益構造の筋肉質化 - 粗利改善と販売費削減

## 調整後EBITDAマージンがヘルスケア各社で改善

様々な収益構造改善策により、広告宣伝費投資を維持しながら黒字幅を拡大

調整後EBITDAマージン



グループ横断での収益構造改善策

粗利改善

### 購入単価アップ **1-グル** **Q'SAI** グループ会社工場の収益性改善

- からだにユーグレナ定期購入の価格改定（2024年11月～）
- コラリッチの価格改定（2025年1月～）
- 各工場間のナレッジシェアで生産性改善
- グループ内外からの製造受託拡大で稼働率改善



販売費削減

### ヘルスケア各社で販売費削減を実施

- 同梱物など販促物の見直しと発注先の最適化
- コールセンターの内製化と稼働率の向上
- 隔月定期増加に伴う配送料の削減



# 成長ブランドとファン顧客の育成 - マイクロニードル軸

## 好調が続くノック注入型マイクロニードル商品の横展開に注力

### CONC

- “非医療用初”ノック注入型マイクロニードル商品「**リンクルインジェクション**」が引き続き好調
- **オンライン広告も強化**し、新たな獲得手段を開拓



3倍

22/3 22/7 22/11 23/3 23/7 23/11 24/3 24/7 24/11 25/3

### チャネルの拡大

- 流通チャネル向けに姉妹ブランド「**CONC LABO**」を新発売
- **全国ほぼ全ての**LOFT・PLAZAやイオンの一部店舗で導入済



その時、その肌に。  
CONC LABO

### 用途の拡大

- **épauler**
- 頭皮用美容液「**FUSARI スカルプインジェクション**」を新発売
- **クロスセル販売が順調**



**U-グレイ**

- 夏の悩みに寄り添う新成分配合の商品を準備中

# 成長ブランドとファン顧客の育成 - ユーグレナ軸

シニア世代、子育て世代へのアプローチに加え、機能性軸でも新規顧客を開拓

既存顧客との接点も拡大し、継続応援のきっかけとなる機会を創出

## からだにユーグレナ

- 拡大するシニア世代への訴求を継続
- 子育て世代へのアプローチを強化
  - SNS訴求や販促物施策の拡充
  - **ECモールでの販売が好調**



微増継続

## 新規顧客へのアプローチ

- 「からだにユーグレナ 睡眠・疲労感・ストレス 機能性表示食品」をリニューアル発売
- **睡眠改善・ストレス緩和・疲労軽減のトリプル訴求**で順調な滑り出し



## 既存顧客へのアプローチ

- ユーグレナ社公式ファンコミュニティ「ユーグレナ・エアポート」での取組強化
- 石垣島お客様ツアーを開催し、**ユーグレナ社や商品を深く理解する機会**に



# メーカー機能の強化

素材メーカーとして、ユーグレナの認知拡大や素材プロモーションを推進

## 素材認知とOEM先の拡大

### 機能性素材としてのユーグレナの認知拡大

- アリナミン製薬社が「アリナミン®ナイトリカバー 快眠ユーグレナ」を発売
- 継続的なCM放映や、ドラッグストア・コンビニへの配荷により、ユーグレナの認知拡大に寄与



### ドラッグストアや海外向けのOEMを強化

- ドラッグストア向けOEMを継続強化

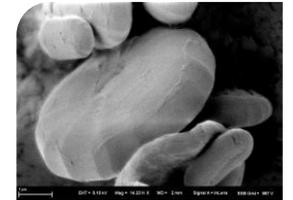


- 中国向けOEM開始



## 機能性解明に向けた研究開発

- パラミロンの免疫調整機能に関する共同研究成果を学会で発表\*1
- 自然免疫が強く活性化されている状況下で、**過剰な炎症を抑制する可能性**を確認



ユーグレナ由来  
パラミロン

## 国内外での素材プロモーション

国内

- 展示会出展「藻活」(もかつ)
- 丸井グループでのポップアップ出展継続



海外

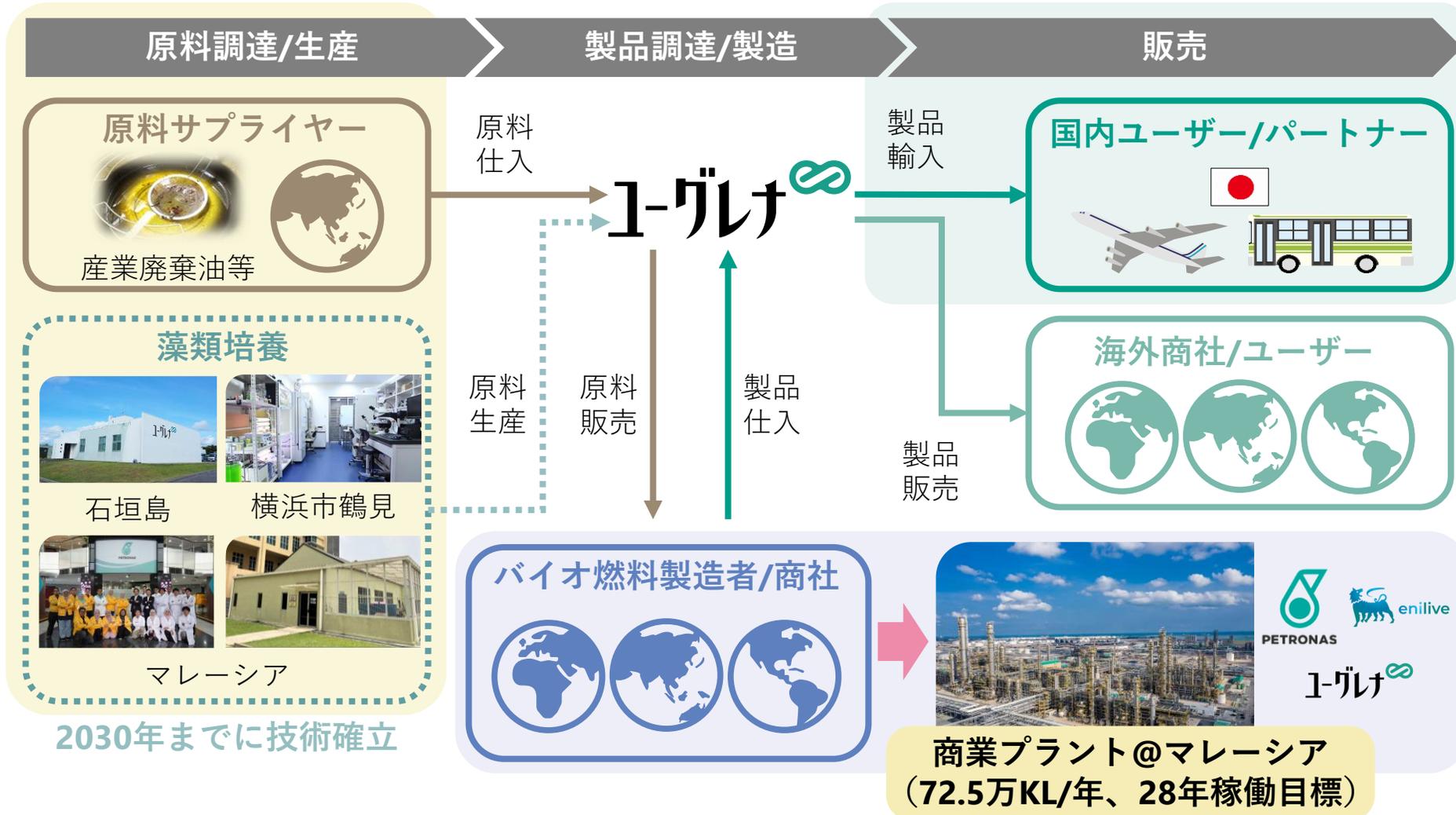
- アジア最大級の食品展示会に出展



# バイオ燃料事業

# ビジネスモデル - 2025年度における主な進捗

バイオ燃料取扱量10万KLに向けて、海外における原料調達先の開拓、商業プラントJV持分引上げに向けた資金調達、国内需要創出に向けた取り組みを推進



**3**  
サステオ51、  
東京都助成金

**2**  
SPCによる  
負債性  
資金調達

Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

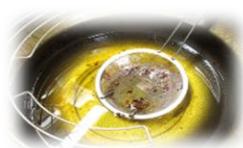


# 1 原料調達 - グローバルサウス助成金獲得

廃食油・油糧作物等の原料調達や藻類培養向け糖源確保を加速すべく、調査事業に着手

## バイオ燃料向け原料調達 @バングラデシュ

### 産業廃棄油



- 廃食油回収及び油糧作物栽培の調査\*1
- 貧困・失業・CO<sub>2</sub>排出ゼロに資するソーシャルビジネスを目指す



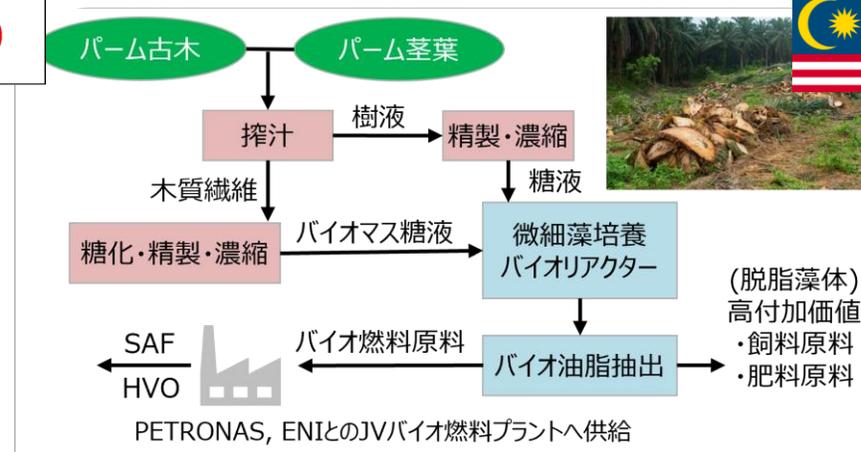
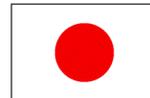
現地ガジプール農業大学と共同研究に取り組む覚書締結

## 藻類培養向け糖源調査 @マレーシア

### 藻類培養



- パーム農業残渣バイオマスの活用可能性調査\*2
- UCO代替に資する藻油生産に向けバイオマス糖源確保を目指す



検討及び調査する事業モデル

\*1: 当社の「バングラデシュ人民共和国／バングラデシュにおけるSAF向け原料サプライチェーン構築に向けた調査事業」（実施期間：2025年2月上旬～2025年12月、主な実施内容：UCO回収事業／油糧作物の栽培事業の調査）が、経済産業省「令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費助成金」に採択

\*2: 当社の「マレーシア／微細藻類培養の糖源としてのパーム農業残渣バイオマスの活用可能性調査事業」（実施期間：2025年4月～2026年2月、主な実施内容：バイオマス賦存量調査／資源化プロセスと事業モデルの検討及び資源化技術の適用性の調査）が、経済産業省「令和5年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業費助成金」に採択

## 2 商業プラント - プロジェクトの概要及び進捗

### 2025年より建設に着手、2028年下期迄の稼働開始を予定

当社は2024年12月に持分5%で出資済み。さらに持分を15%へ引上げ、年間約10万KLの取扱いを目指す



3社合弁会社



- PETRONAS社のPengerang Integrated Complex (PIC)内に建設
- 製造能力は約72.5万KL/年
- SAFとHVOをフレキシブルに生産
- プロジェクト金額は約13億ドル



当社シェア15%で  
年間約10万KLの  
取扱いを目指す

#### 今後のスケジュール（予定）



65百万ドルの資金コミットメント\*1  
を拠出、持分5%で出資完了

追加の資金コミットメント\*1  
で持分15%を目指す

#### 当社の収益ポテンシャル\*2

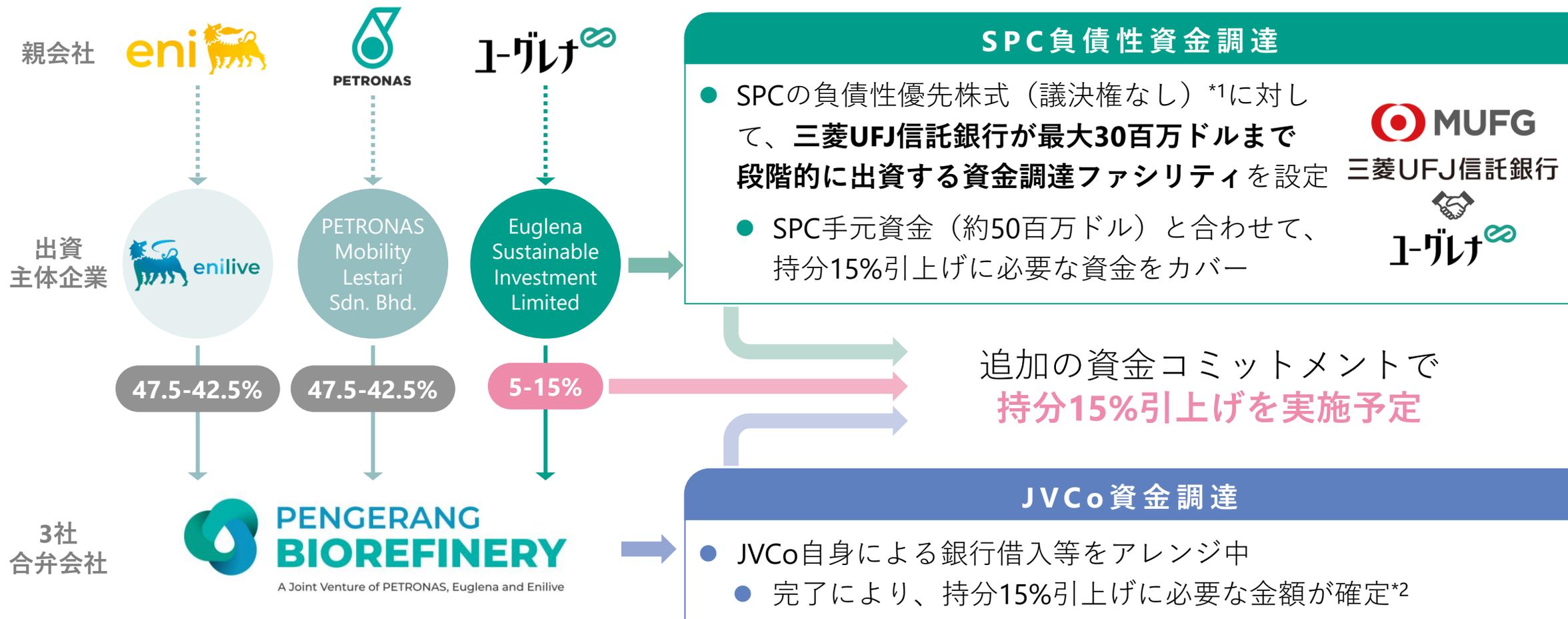
- 売上高（原料/製品トレーディング）：  
**300億円/年規模**
- 税引前利益（資金調達影響を除く）：  
**60億円/年以上 + トレーディングからの利益**

\*1: 出資比率に応じて要する資金コミットメント（出資等及び銀行保証提供）の総額

\*2: 当社シェア15%（約10万KL/年相当）、バイオ燃料価格@300円/L、本合弁会社の純利益率20%以上・配当性向100%、銀行ローン等の資金調達無し、を想定

## 2 商業プラント - 持分15%引上げに向けた進捗

最大30百万ドルのSPC負債性資金調達ファシリティの設定が完了



\*1: 配当・償還原資が本プロジェクトからのキャッシュフローに限定されたノンリコース型。設定日から一定期間経過後に現金対価でコール/プットが可能

\*2: 持分15%への追加出資に必要な資金コミットメント（出資等及び銀行保証提供）の金額は、JV自身の第三者調達により減少する見込み

### 3 国内HVO需要の創出 - サステオ51、東京都助成金

改正省エネ法\*1の対応に利用できるサステオ51\*2を開発、HVO普及を加速

実証と社会実装に向け、東京都「新エネルギー推進に係る技術開発支援事業\*3」に代表企業として採択

#### サステオ51の優位性

- 改正省エネ法にて、非化石エネルギー転換に関する中長期計画および定期報告の提出を義務化
- EV、PHEV、水素燃料自動車（FCV含）と並び、**サステオ51使用車は「非化石エネルギー自動車」に該当**
- サステオ51の製造方法は、**特許申請中**

サステオ



三井住友銀行にて、サステオ51使用のマツダ車（ディーゼル車）を社用車として導入、BCP観点でも活用

#### 新たに東京都助成金を獲得

- 前年助成事業\*4に続き国内HVO普及を推進
- 助成金活用により**ユーザーのHVO導入負担も軽減**

1-グレ

各社の役割イメージ

全体統括、新規HVO混合燃料・サービス開発



供給体制整備

新規HVO混合燃料の実証利用

構成企業9社によるコンソーシアムを牽引

\*1: エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律（2023年4月施行）。非化石エネルギーを含めた全てのエネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換を求めるとともに、電気の需要の最適化を促す。中長期計画及び定期報告提出の義務化対象者は、特定事業者等、特定貨物/旅客輸送事業者、特定荷主

\*2: HVO51%混合軽油

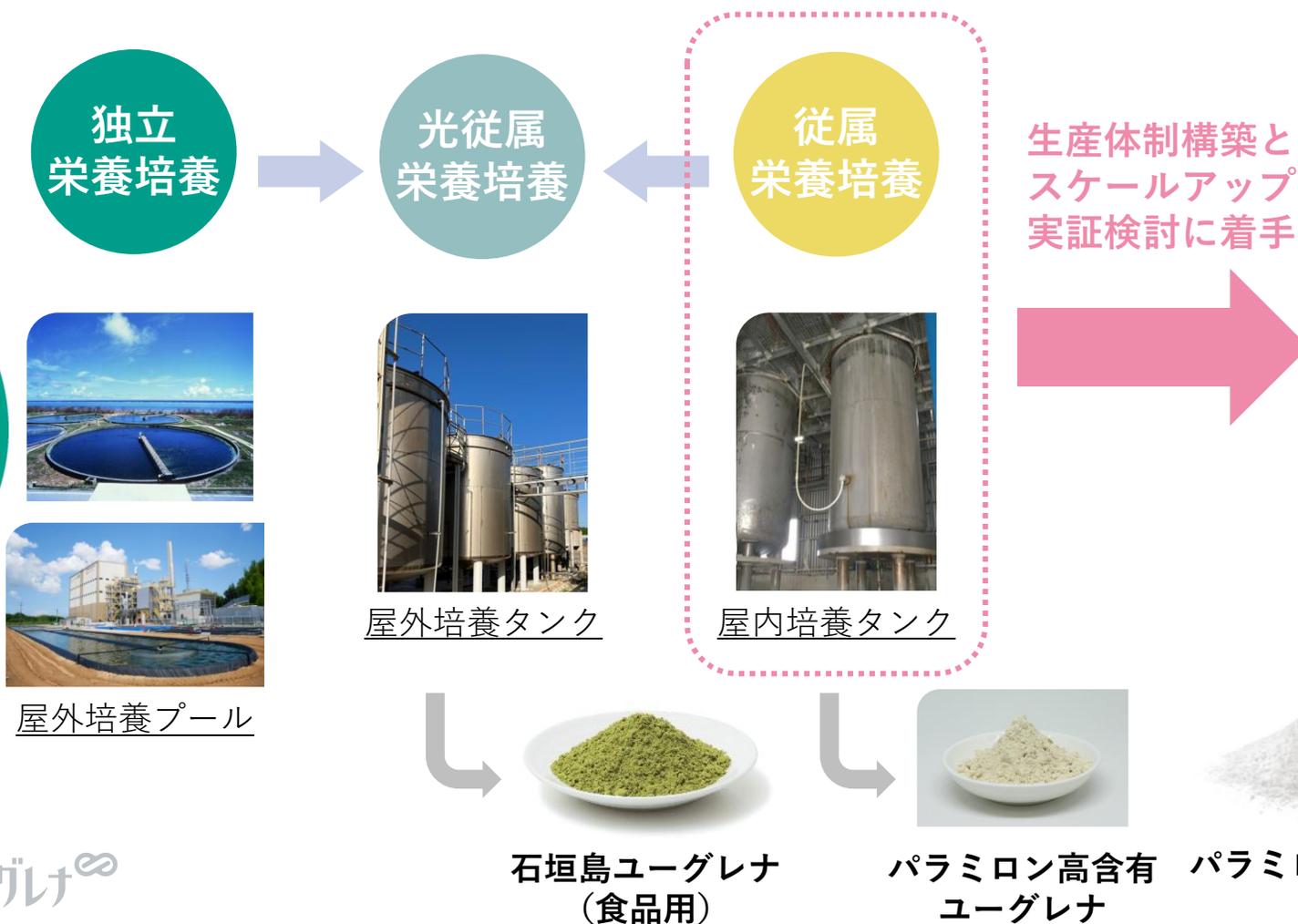
\*3: 支援対象となる取組は、新エネルギー及び新エネルギーの利活用・普及に資する製品・サービス等に係る調査研究、技術開発、実証、実装等の取組  
支援対象者、支援期間は、交付決定日から3年以内。助成限度額、助成率は、1グループあたり最大30億円、対象となる経費の3分の2以内

\*4: 東京都「バイオ燃料活用における事業化促進支援事業」に採択 (<https://www.euglena.jp/news/20240830-2/>)

# 研究開発

# 大規模培養 - 従属栄養培養による生産体制構築とスケールアップ

従属栄養培養のスケールアップ実証を推進、大量生産・低コスト化により  
新たな需要の創出を目指す



## スケールアップ実証の進捗

- ユーグレナの**高脂質・高密度タンク培養**に成功 (ヘルスケア向け**光従属栄養培養比で最高約10倍の高密度**)
  - 培養設備容量当たりの藻体生産量を高めることが**生産コストの低減に大きく貢献**



高密度培養の実証試験  
で生産した微細藻類  
ユーグレナ

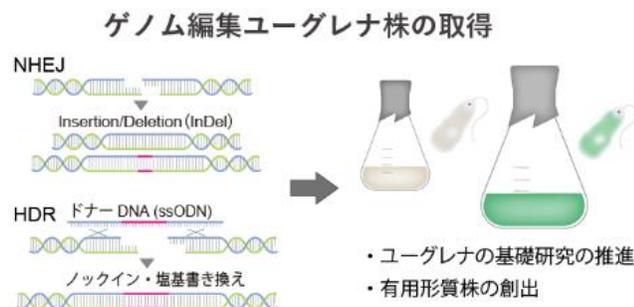
バイオ燃料原料への前段階として、  
パラミロン原末や飼料・肥料展開に  
よる商業生産を目指す

# ゲノム編集技術 - ゲノム編集株の早期実用化に向けた進捗

## 国産ゲノム編集技術CRISPR-Cas3\*1を用いたユーグレナの品種改良に成功

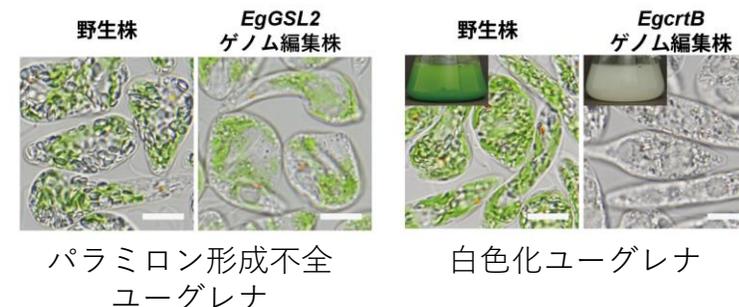
ピンポイント  
なゲノム編集  
技術

- 有用形質株の柔軟かつ緻密な作出が可能
- 遺伝子組み換えよりも精度と安全性が高く、実用化しやすい



2024年度迄の進捗

- Cas9に続きCas12aを用いた**高効率ゲノム編集技術を確立**\*2
- 1塩基レベルの精密な塩基書き換えにも成功
- 主にバイオ燃料向け用途を企図した品種改良株を作出



➡ 技術は確立したが、特許料や許諾条件の不透明さが実用化に際しての課題

2025年度の進捗

- 国産ゲノム編集技術である**CRISPR-Cas3法**を用いたユーグレナのゲノム編集に成功\*3
- 食品用展開の可能性も視野に入れた品種改良株を作出



➡ 権利関係が明確な国産技術の利用で、より迅速な産業展開が可能

\*1: CRISPR-Cas9法と類似した技術的特徴を持つ技術で、大阪大学発バイオベンチャー企業であるC4U社が再実施権付独占許諾権を有する

\*2: 理化学研究所との共同研究、「微細藻類ユーグレナのゲノム編集技術を拡張 (2024/2/1)」 (<https://www.euglena.jp/news/20240201-2-2/>)

\*3: C4U社との共同研究、「国産ゲノム編集技術CRISPR-Cas3を用いたユーグレナの品種改良に成功」 (<https://www.euglena.jp/news/20250417-1/>)

# 補足資料： 業績サマリー

# 会社概要



いきる、たのしむ、サステナブル。

創業	2005年8月9日
本店	東京都港区芝5-29-11
資本金	163億3,115万円（2025年3月末時点）
従業員数*1	1,168名（連結）（2024年12月末時点）
グループ会社	連結子会社16社（うち、キューサイ・グループ4社、海外合弁会社1社）（2025年3月末時点）
フィロソフィー	Sustainability First（サステナビリティ・ファースト）
パーパス	人と地球を健康にする
上場市場	東京証券取引所プライム市場
証券コード	2931
株主数	118,596名（2024年12月末時点）

# 連結損益計算書

(百万円)	2024/12期															2025/12期		
	連結合計															連結合計		
						うちユーグレナ <sup>*1</sup>					うちキューサイ					うちユーグレナ <sup>*1</sup>	うちキューサイ	
	1Q	2Q <sup>*4</sup>	3Q	4Q	合計	1Q	2Q <sup>*4</sup>	3Q	4Q	合計	1Q	2Q	3Q	4Q	合計	1Q	1Q	1Q
売上高 (新区分ベース)	11,154	12,495	11,624	12,345	47,619	4,770	6,225	5,406	5,800	22,201	6,384	6,269	6,218	6,546	25,418	11,936	5,452	6,484
直販	8,287	8,208	8,132	8,449	33,076	2,485	2,590	2,597	2,705	10,377	5,802	5,619	5,535	5,744	22,700	8,277	2,518	5,759
流通	854	915	949	1,150	3,868	271	264	301	370	1,206	583	651	649	780	2,662	976	278	698
OEM・原料・海外	327	1,930	1,793	1,802	5,852	327	1,930	1,762	1,785	5,804	0	0	31	17	48	1,646	1,631	15
その他	1,687	1,441	750	944	4,822	1,687	1,441	746	939	4,814	0	0	3	4	8	1,036	1,025	11
売上原価	3,130	4,085	3,401	3,735	14,351	2,002	2,945	2,270	2,477	9,694	1,128	1,140	1,131	1,258	4,657	3,600	2,470	1,130
売上総利益	8,024	8,410	8,223	8,610	33,268	2,768	3,280	3,136	3,323	12,507	5,256	5,130	5,087	5,288	20,761	8,336	2,982	5,354
粗利率	72%	67%	71%	70%	70%	58%	53%	58%	57%	56%	82%	82%	82%	81%	82%	70%	55%	83%
(内 ヘルスケア事業)	76%	70%	74%	73%	73%	65%	56%	64%	64%	62%	82%	82%	82%	81%	82%	74%	62%	83%
販売費及び一般管理費	7,722	8,512	8,264	8,470	32,967	3,198	4,050	3,691	3,520	14,459	4,523	4,461	4,573	4,950	18,508	7,718	3,300	4,417
販売費	4,967	5,161	4,927	5,211	20,266	1,761	2,013	1,771	1,803	7,348	3,206	3,148	3,156	3,408	12,918	4,737	1,656	3,081
(内 広告宣伝費)	2,596	2,771	2,657	2,802	10,825	983	1,130	933	916	3,962	1,613	1,640	1,724	1,885	6,863	2,562	872	1,690
人件費	1,141	1,445	1,500	1,561	5,646	651	951	888	899	3,389	491	494	611	661	2,257	1,367	859	509
管理費	1,433	1,682	1,624	1,472	6,211	621	880	846	640	2,987	812	802	777	832	3,224	1,447	655	792
研究開発費	181	224	213	225	844	166	207	185	177	735	15	17	28	48	109	167	131	36
営業損益	302	-102	-40	141	301	-431	-770	-555	-197	-1,953	733	668	514	338	2,253	618	-319	937
調整後EBITDA <sup>*2</sup>	1,071	1,051	1,125	1,083	4,330	-191	-147	82	214	-42	1,262	1,198	1,043	869	4,372	1,546	82	1,464
営業外損益	-36	-3	-153	323	131	67	99	-71	399	494	-103	-102	-82	-76	-363	-182	-80	-102
(内 助成金収入)	23	25	50	4	102	22	22	50	3	97	2	3	0	1	6	4	4	1
経常損益	266	-105	-193	464	432	-363	-671	-626	202	-1,459	630	567	432	262	1,891	436	-398	834
特別損益	-482	-303	49	-1	-737	-482	-319	49	15	-737	0	16	0	-16	-0	-261	-261	0
親会社株主に帰属する当期純損益	192	-519	-722	398	-651	na	na	na	na	na	na	na	na	na	na	-507	na	na
【参考指標】																		
減価償却費 <sup>*3</sup>	490	777	770	574	2,610	105	393	385	187	1,071	384	384	385	386	1,539	589	206	382
(内 M&A関連)	360	611	610	439	2,019	48	299	298	127	773	312	312	312	312	1,246	439	127	312
のれん償却額	246	244	244	244	978	103	100	100	100	404	143	143	143	143	573	244	100	143

\*1: 連結PLからキューサイ・グループPL (キューサイ・グループとその他グループ間の連結相殺反映後) を控除した金額で、グループ会社PLを含む

\*2: 調整後EBITDAは当社独自の財務指標。計算式は、EBITDA(営業利益+のれん償却費及び減価償却費) + 助成金収入 + 株式関連報酬

\*3: 調整後EBITDAの算出に使用した金額であり、連結キャッシュ・フロー計算書の数値とは異なる

\*4: サティス製薬及び日本ビューテック連結化に伴い計上したのれんの識別可能資産 (顧客関連資産、受注残) への配分が2024/3Qに完了。2024/12期2Qは遡及修正後の数字

# セグメント別PL

事業セグメント別内訳							
(百万円)	2024/12期				合計	2025/12期	
	'24Q1	'24Q2	'24Q3	'24Q4		'25Q1	合計
<b>連結合計</b>							
売上高	11,154	12,495	11,624	12,345	<b>47,619</b>	11,936	<b>11,936</b>
増減率	-10%	12%	-7%	6%	<b>2%</b>	-3%	<b>na</b>
売上総利益	8,024	8,410	8,223	8,610	<b>33,268</b>	8,336	<b>8,336</b>
対売上高比率	72%	67%	71%	70%	<b>70%</b>	70%	<b>70%</b>
調整後EBITDA	1,071	1,051	1,125	1,083	<b>4,330</b>	1,546	<b>1,546</b>
対売上高比率	10%	8%	10%	9%	<b>9%</b>	13%	<b>13%</b>
<b>ヘルスケア事業</b>							
売上高	10,304	11,726	10,894	11,423	<b>44,348</b>	10,924	<b>10,924</b>
増減率	-5%	14%	-7%	5%	<b>7%</b>	-4%	<b>na</b>
売上総利益	7,813	8,203	8,103	8,390	<b>32,508</b>	8,106	<b>8,106</b>
対売上高比率	76%	70%	74%	73%	<b>73%</b>	74%	<b>74%</b>
調整後EBITDA	1,642	1,609	1,732	1,584	<b>6,568</b>	2,033	<b>2,033</b>
対売上高比率	16%	14%	16%	14%	<b>15%</b>	19%	<b>19%</b>
<b>バイオ燃料事業</b>							
売上高	118	188	306	322	<b>934</b>	253	<b>253</b>
増減率	-89%	59%	63%	5%	<b>-67%</b>	-21%	<b>na</b>
売上総利益	19	41	58	50	<b>167</b>	58	<b>58</b>
対売上高比率	16%	22%	19%	15%	<b>18%</b>	23%	<b>23%</b>
調整後EBITDA	-124	-122	-89	-89	<b>-425</b>	-52	<b>-52</b>
<b>その他事業</b>							
売上高	732	581	429	606	<b>2,348</b>	763	<b>763</b>
増減率	57%	-21%	-26%	41%	<b>3%</b>	26%	<b>na</b>
売上総利益	192	165	64	172	<b>592</b>	172	<b>172</b>
対売上高比率	26%	28%	15%	28%	<b>25%</b>	23%	<b>23%</b>
調整後EBITDA	-65	-100	-166	-85	<b>-415</b>	-80	<b>-80</b>
対売上高比率	-9%	-17%	-39%	-14%	<b>-18%</b>	-10%	<b>-10%</b>
<b>全社</b>							
売上高	0	-0	-5	-6	<b>-11</b>	-5	<b>-5</b>
売上総利益	0	1	-1	-1	<b>-0</b>	-0	<b>-0</b>
調整後EBITDA	-382	-337	-352	-327	<b>-1,398</b>	-356	<b>-356</b>

ヘルスケア事業内訳							
(百万円)	2024/12期				合計	2025/12期	
	'24Q1	'24Q2	'24Q3	'24Q4		'25Q1	合計
<b>ユーグレナ・ヘルスケア<sup>*1</sup></b>							
売上高	2,005	2,082	2,067	2,458	<b>8,613</b>	2,061	<b>2,061</b>
売上総利益	1,490	1,479	1,504	1,755	<b>6,228</b>	1,527	<b>1,527</b>
対売上高比率	74%	71%	73%	71%	<b>72%</b>	74%	<b>74%</b>
調整後EBITDA	251	28	224	368	<b>871</b>	315	<b>315</b>
対売上高比率	13%	1%	11%	15%	<b>10%</b>	15%	<b>15%</b>
<b>エボラ</b>							
売上高	869	847	881	943	<b>3,540</b>	831	<b>831</b>
売上総利益	673	670	676	712	<b>2,732</b>	631	<b>631</b>
対売上高比率	77%	79%	77%	75%	<b>77%</b>	76%	<b>76%</b>
調整後EBITDA	36	42	75	110	<b>262</b>	91	<b>91</b>
対売上高比率	4%	5%	9%	12%	<b>7%</b>	11%	<b>11%</b>
<b>MEJ</b>							
売上高	302	284	276	253	<b>1,114</b>	206	<b>206</b>
売上総利益	216	243	224	208	<b>891</b>	170	<b>170</b>
対売上高比率	72%	86%	81%	82%	<b>80%</b>	83%	<b>83%</b>
調整後EBITDA	-7	14	72	50	<b>129</b>	36	<b>36</b>
対売上高比率	-2%	5%	26%	20%	<b>12%</b>	17%	<b>17%</b>
<b>キューサイ・グループ<sup>*2</sup></b>							
売上高	6,428	6,319	6,257	6,591	<b>25,596</b>	6,536	<b>6,536</b>
売上総利益	5,300	5,180	5,121	5,329	<b>20,930</b>	5,402	<b>5,402</b>
対売上高比率	82%	82%	82%	81%	<b>82%</b>	83%	<b>83%</b>
調整後EBITDA	1,305	1,248	1,077	910	<b>4,541</b>	1,511	<b>1,511</b>
対売上高比率	20%	20%	17%	14%	<b>18%</b>	23%	<b>23%</b>
<b>サティス製薬・グループ<sup>*3</sup></b>							
売上高	13	1,659	1,567	1,310	<b>4,548</b>	1,437	<b>1,437</b>
調整後EBITDA	-5	222	305	149	<b>672</b>	91	<b>91</b>
対売上高比率	-39%	13%	19%	11%	<b>15%</b>	6%	<b>6%</b>
<b>事業内共通・相殺、はこ社<sup>*4</sup></b>							
売上高	686	535	-153	-132	<b>937</b>	-147	<b>-147</b>
調整後EBITDA	62	55	-20	-3	<b>93</b>	-11	<b>-11</b>

\*1: ユーグレナ社のヘルスケア事業及びグループ会社のLIGUNA（2024年3Q以降はユーグレナ社に吸収合併）、八重山殖産、上海ユーグレナ（2024年1Q清算）の合計

\*2: Q-Partners、キューサイ、キューサイプロダクツ、キューサイファーム島根、CQベンチャーズ（2024年1月吸収合併により消滅）の合計。内部取引相殺を区分したため、前頁数値と相違あり

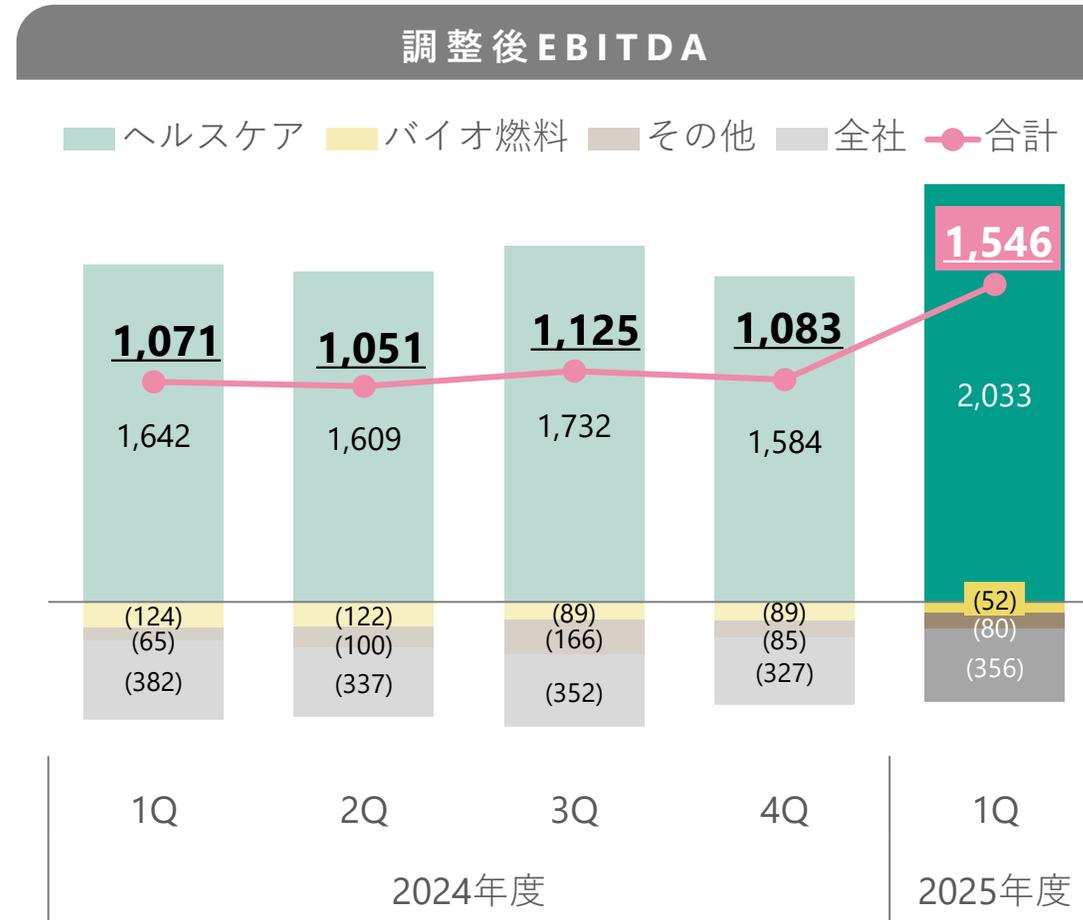
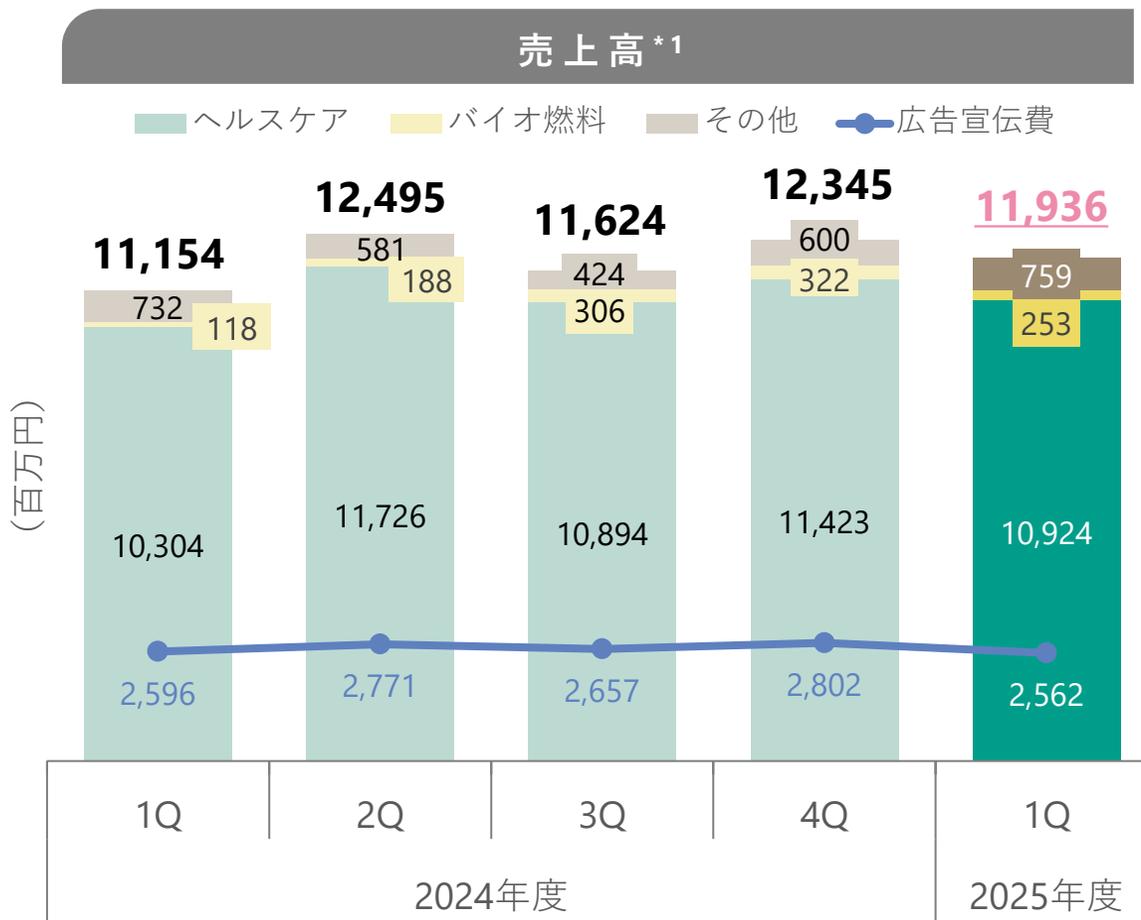
\*3: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化

\*4: ヘルスケア事業全体の共通費、各ヘルスケア事業内グループ間の連結相殺、はこ社（2024/6末全株式譲渡）の合計

# 四半期業績推移 - 売上高/調整後EBITDA

ヘルスケア各社の様々な収益構造改善策が寄与し、QoQで調整後EBITDAが大幅改善

ヘルスケアにおけるOEMの前倒し納品の反動や、直販の出荷日数減少が影響し、QoQで売上高は減少

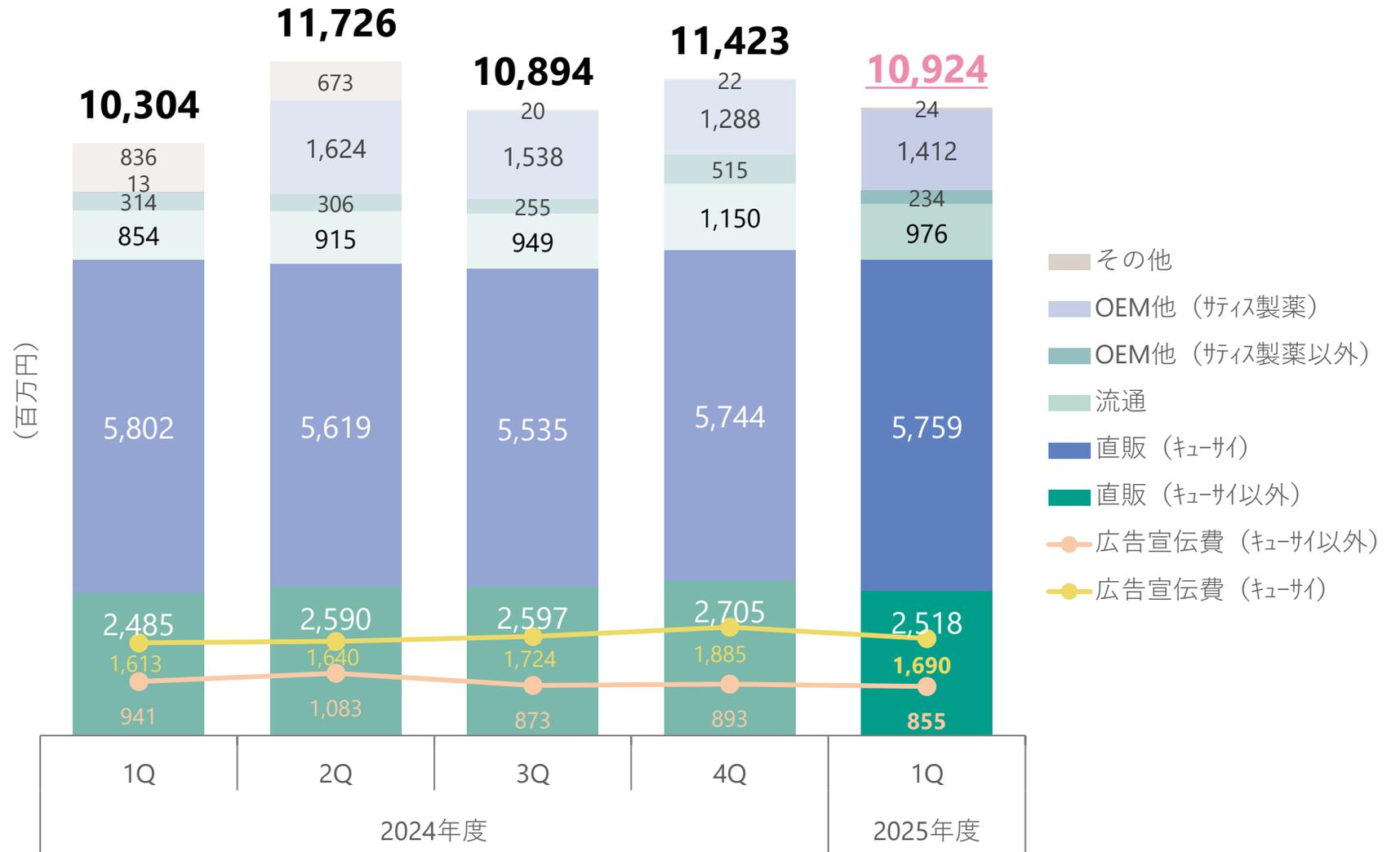


\*1: 「その他」には、セグメント間のグループ内相殺等を含む。広告宣伝費に販売促進費は含まれていない

# 四半期業績推移 - ヘルスケア売上高

直販は前期4Qの  
 広告投資拡大の反動と  
 出荷日減少の影響で  
 QoQ減少

OEMはサティス製薬が  
 拡大する一方、前期4Qの  
 前倒し納品の反動等もあり  
 QoQ減少



# 連結貸借対照表

サティス製薬G  
連結化\*1

サティス製薬Gの  
取得原価の配分完了

(百万円)	2023/12末	2024/3末*2	2024/6末*2	2024/9末	2024/12末	2025/3末
<b>流動資産</b>	<b>24,431</b>	<b>29,438</b>	<b>29,196</b>	<b>29,408</b>	<b>30,865</b>	<b>30,094</b>
現金及び預金	15,792	18,855	19,091	19,806	20,631	19,051
棚卸資産	3,685	4,360	4,364	4,033	3,661	4,150
その他	4,954	6,223	5,741	5,570	6,573	6,893
<b>固定資産</b>	<b>35,188</b>	<b>44,279</b>	<b>43,494</b>	<b>42,180</b>	<b>42,391</b>	<b>41,467</b>
有形固定資産	5,507	6,971	6,681	6,185	6,048	5,972
無形固定資産	27,764	35,879	35,085	34,243	33,565	32,911
（内 のれん）	11,639	12,963	12,719	12,475	12,231	11,988
（内 顧客関連資産）	14,796	21,237	20,816	20,396	19,976	19,555
投資その他の資産	1,917	1,429	1,729	1,752	2,778	2,585
<b>総資産</b>	<b>59,619</b>	<b>73,717</b>	<b>72,690</b>	<b>71,588</b>	<b>73,256</b>	<b>71,561</b>
<b>負債</b>	<b>39,405</b>	<b>42,819</b>	<b>41,422</b>	<b>40,835</b>	<b>41,143</b>	<b>39,972</b>
流動負債	12,271	13,038	12,278	12,152	12,812	11,940
（内 短期借入金）	3,294	4,558	4,403	4,360	4,145	3,874
固定負債	27,133	29,782	29,143	28,683	28,331	28,032
（内 長期借入金）	16,972	18,090	16,688	16,033	15,964	15,695
（内 繰延税金負債）	4,857	6,230	6,037	6,230	5,944	5,916
（内 社債）	4,800	4,800	5,800	5,800	5,800	5,800
<b>純資産</b>	<b>20,215</b>	<b>30,898</b>	<b>31,269</b>	<b>30,753</b>	<b>32,113</b>	<b>31,589</b>
株主資本	20,070	30,826	31,183	30,469	30,918	30,457
（内 資本金）	15,868	15,868	16,306	16,306	16,331	16,331
（内 資本剰余金）	15,199	16,419	16,857	16,857	16,882	16,882
（内 利益剰余金）	(10,962)	(1,426)	(1,945)	(2,659)	(2,261)	(2,722)
その他	144	72	86	284	1,195	1,132
<b>負債・純資産合計</b>	<b>59,619</b>	<b>73,717</b>	<b>72,690</b>	<b>71,588</b>	<b>73,256</b>	<b>71,561</b>

\*1: サティス製薬、日本ビューテック、ナユタの3社。サティス製薬及び日本ビューテックは2024/3末をみなし取得日として連結化、ナユタは2024/2末をみなし取得日として連結化  
2024/3末時点のBSでは、サティス製薬グループの連結に伴うのれん6,914百万円を暫定金額で計上。3Qに取得原価の配分が完了し、のれんの金額を1,899百万円に修正

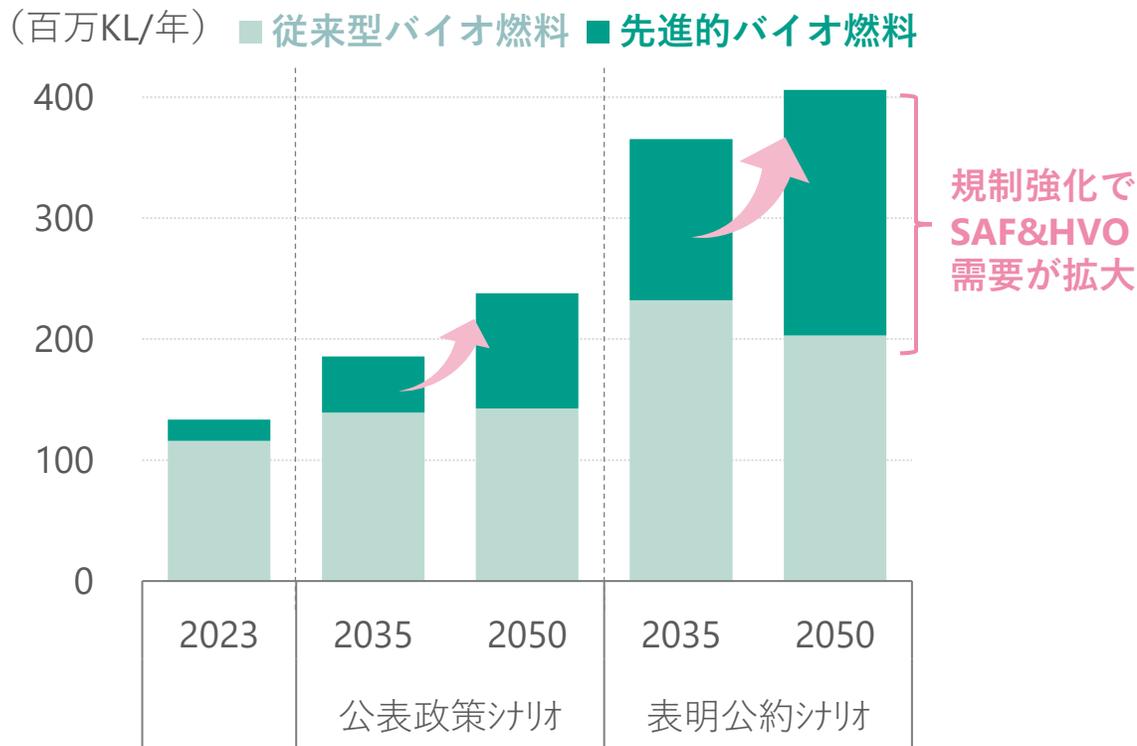
\*2: サティス製薬及び日本ビューテック連結化に伴い計上したのれんの識別可能資産（顧客関連資産、受注残）への配分が2024/3Qに完了。2024/3末及び2024/6末は遡及修正後の数字

# 補足資料： バイオ燃料業界動向

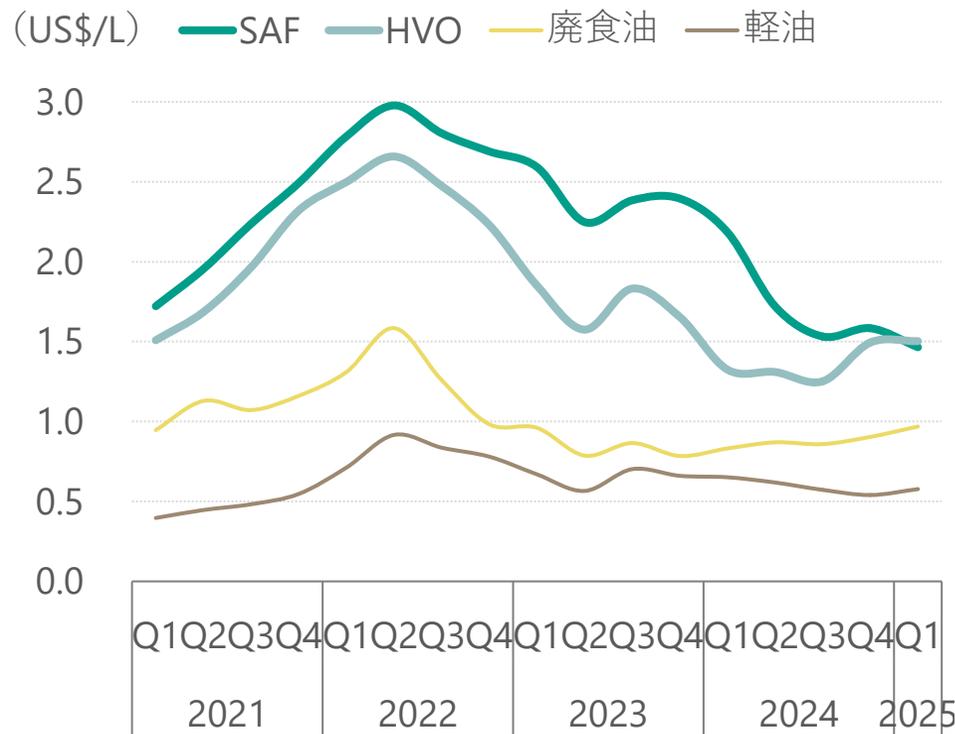
# 世界のバイオ燃料市場の動向

導入義務やインセンティブの強化により、バイオ燃料需要は飛躍的に拡大  
供給過多や米国政策動向で短期的には軟調に推移するも、中期的には需給環境改善による反転を見込む

世界のバイオ燃料需要の見込み\*1,2



バイオ燃料価格 (欧州) \*3



\*1: IEA "World Energy Outlook 2024" (2024)データを基に当社で作成

\*2: 「従来型」 = 農作物由来の第一世代バイオ燃料、「先進的」 = 廃棄物や非可食植物など食糧生産と競合しない持続可能な原料で製造されたバイオ燃料

\*3: Argus社データを基に当社で作成した参考値で、実際の価格は地域や取引条件によって異なる。比重は燃料0.8g/cm<sup>3</sup>・廃食油0.9g/cm<sup>3</sup>、\$1=150円で試算

# 世界のSAF導入方針と需要の見通し

EUと英国で2025年よりSAF 2%導入が義務化。CORSlA\*1や各国規制導入により、2030年に向けて国内外のSAF需要拡大が加速化する見通し

## バイオ燃料導入に向けた各国方針

### CORSIA

- 2019年比85%までCO<sub>2</sub>排出量を削減
- 2024年から自主的運用（126か国が参加）、2027年から全ICAO（国際民間航空機関）加盟国に原則適用

### 欧州



- EU RED III
- ReFuel EU

### アジア



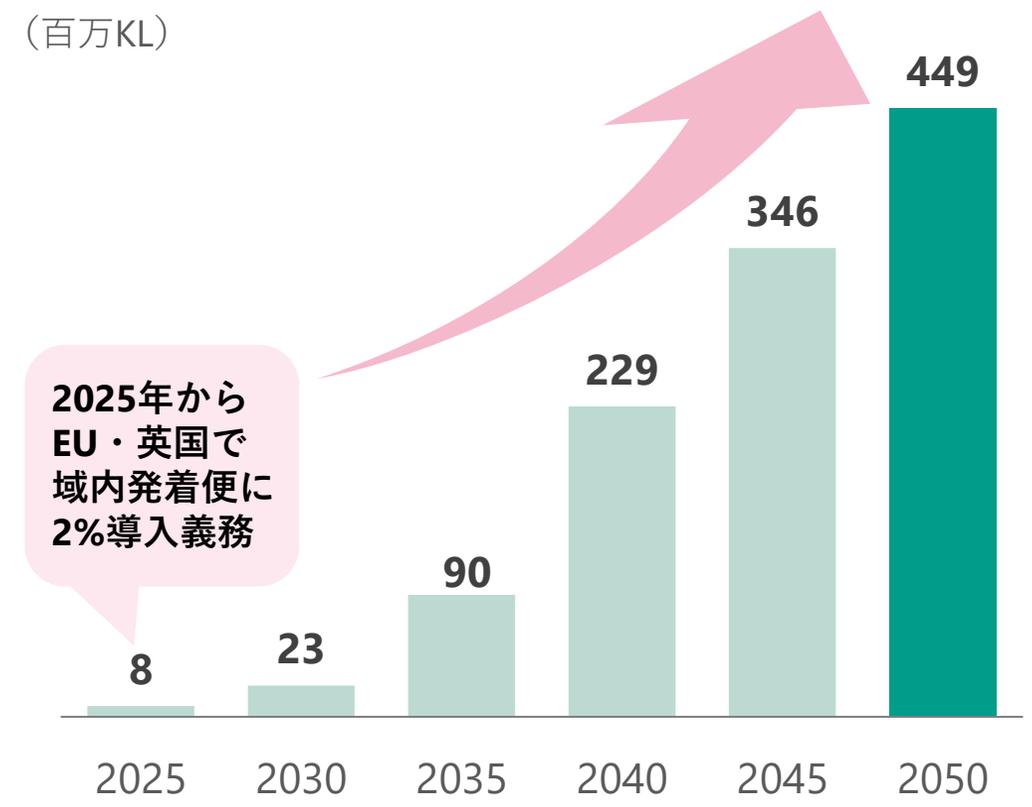
- 日本 ⇒10%@2030年～

### 北米



- Grand Challenge
- RFS/LCFS等

## 世界のSAF需要の見通し\*2



Copyright Euglena Co., Ltd. All rights reserved.

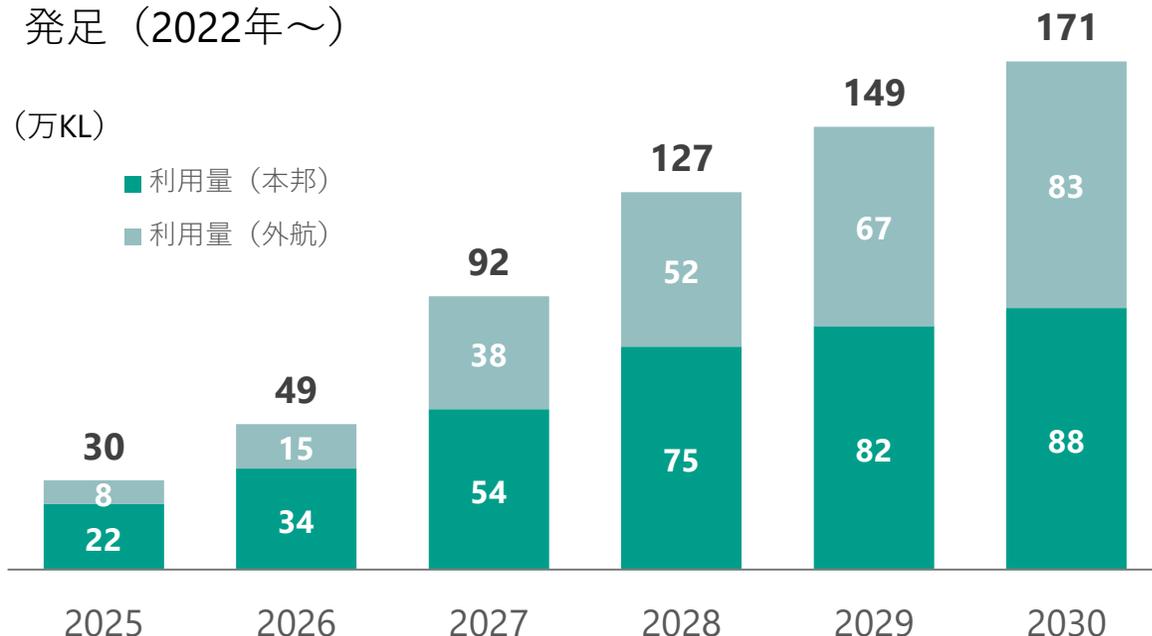
\*1: Carbon Offsetting and Reduction Scheme for International Aviation（国際民間航空のためのカーボン・オフセット及び削減スキーム）の略称  
 \*2: IATA「Sustainable Aviation Fuel Fact Sheet」およびICAO HPを基に当社作成

# バイオ燃料普及に向けた国内の動き

## 日本国内でも脱炭素やバイオ燃料導入に向けた動きが加速

### 日本のSAF需要見通し\*1

- 経済産業省は、2030年に国内で生産・供給されたジェット燃料のCO2排出量2019年比5%以上削減を石油元売り企業に義務付ける方針を提示
- 持続可能な航空燃料（SAF）の導入促進に向けた官民協議会発足（2022年～）



### 脱炭素に向けた国内方針

#### GHG排出量削減目標\*2

- 2030年度46%削減（2013年度比）
- 2035年度60%削減（2013年度比）
- 2040年度73%削減（2013年度比）
- 2050年カーボンニュートラル宣言

#### 目標達成に向けた政策・規制

- 2026年にGX-ETS（排出権取引制度）開始
- 2028年に炭素税導入の議論が継続

